

西条市西消防署河北出張所

さいじょう 市議会だより

令和元年(2019)11月1日発行

第64号



みずきの
ええとこ発見!



西消防署河北出張所完成

東予地域北部への救急出動時間の大幅短縮を実現!

令和元年度補正予算（総額8億7,110万1千円）を可決 決算審査特別委員会を設置

9月
定例会

令和元年第2回9月定例会は9月3日から9月27日まで開催され、市長提出の議案24件及び報告4件を審議し、最終日には、議案などの採決を行いました。

また、議員17人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に2ページから7ページに掲載しています。



自民クラブ

堀江 幸二 議員



1 (一般質問)
8月28日付け愛媛新聞
記事における市長発言に
ついて

議員報酬に対する市長発言
その見解は？

問

当該記事によると、市長は8月27日の定例会見で、市議会が議会活性化推進特別委員会で検討中の議員報酬案に対し「私の感覚では市民に理解をしてもらえない額ではない」「議会費の総額が（現行を）上回らないようにするべきだ」と述べたとされているが、市長は議員報酬について、どのように認識しているのか。

答

定例記者会見時には、記者からの質問に対し、私に寄せられた市民からの声も踏まえ、あくまでも私見であるとの前提で発言したものである。

「議会費の総額を上回らないように」との発言については、議員報酬を増額する場合、現行の議長・副議長を含めた全議員の議員報酬及び期末手当、政務活動費の総額を上回らない範囲であれば、市民の理解を得やすいのではとの認識から発言したものである。また、類似団体と比較した場合、本市の議員報酬は低く議員定数は多いことから一定の改善は必要と認識しており、見直しに当たっては過去の特別職報酬等審議会や他市における議論から、議員報酬と議員定数を同時に見直すことで理解を得やすいのではと考えている。

いずれにしても、現在、議会活性化推進特別委員会において精力的に検討が重ねられており、今後、公聴会や有識者からの意見聴取が予定されていることから、これらの動向を見守っていきたい。

伊藤 新平 議員



1 (一般質問)
南海トラフ巨大地震に
対する防災・減災対策に
ついて

安心して暮らすために
液状化情報の周知を！

問

東日本大震災では、地盤の液状化による被害が発生し、人々の生活に大きな支障を来した。本市においても、巨大地震発生時に地盤が液状化する可能性の高い地域が数多く存在するが、液状化について、地域住民のかたがたには、どのような周知・啓発を行っているのか。

答

市民に対する周知の取組としては、市が独自に南海トラフ巨大地震を想定した液状化マップを作成して、防災マップの裏面に印刷し、

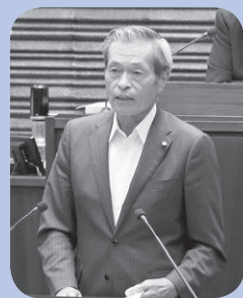


防災マップに印刷された液状化マップ

広報紙に折り込んで全戸配付を行っているほか、本市のホームページや防災アプリ「防災情報さいじょう」にも液状化マップを掲載している。

また、啓発については、平成30年7月豪雨災害以降、市民の逃げ遅れを減らす取組として、市民一人一人が台風、地震、液状化などの災害の危険性とその対策について、家族構成や生活環境に合わせ「いつ」「誰が」「何を」するかをあらかじめ時系列で整理した個人の防災行動計画「マイ・タイムライン」の利用を推進しており、自治会など各種団体の防災説明会やタウンミーティングにおいて積極的に説明し、避難意識の向上を図っている。

白坂 均 議員



(一般質問)

- 1 住宅宿泊事業法に基づく民泊について
- 2 農業用ドローンについて

空き家を利用した 民泊事業の展開を！

問

住宅宿泊事業法が成立し、民泊の法的な位置付けが明確化され、国策として後押しされている中、本市での民泊事業者は僅か3件であり、未開拓の状態である。

民泊は、問題点がクローズアップされがちであるが、滞在型観光客を増やすために必要な魅力ある宿泊施設の形態となりえ、また、空き家を民泊施設へ転換することで空き家対策の一助にもなると考えるが、本市は今後、民泊事業にどう取り組むのか。

答

観光庁が2か月ごとに発表している宿泊実績によると、住宅宿泊事業者数及び宿泊者数は増加を続けており、外国人観光客をはじめとする宿泊ニーズの多様化を背景に、本市においても増加傾向で推移すると予想される。また、従来とは異なるニーズにより新しい需要が喚起され、観光消費額の増加や交流人口拡大などに寄与すると考えられる。しかし、住宅宿泊事業者の増加に伴い、ごみ出しや騒音などの近隣トラブルや、既存宿泊施設との競合が発生する可能性もあることから、住宅宿泊事業が市民生活などに与える影響を注視しつつ、今後も観光による宿泊客の増加に努めたい。

井上 浩二 議員



(一般質問)

- 1 上水道事業について

小松地区の 水源の確保を！

問

平成19年度に実施した小松地区における水源調査の結果と、今後の実施計画はどのようになっているのか。また、過去に水源確保は地域内で行うべきとの見解が示されているが、小松地区の脆弱な水事情の解消に向けて、どのように取り組もうと考えているのか。

答

平成19年度にやすらぎ苑西側からJRR予讃線にかけて探查した結果、深度30メートル付近に帯水層があり、水量が豊富であるとの調査結果が出た。市としては、ここからの取水が望ましいと考えているため、今後、地元関係者の理解と協力が得られ、水源調査の実施計画を策定し、揚水試験や水質試験を行いたい。

小松地区の水源確保に向けた取組としては、平成24年度に安井水源地の老朽化した井戸を改良し、水量を確保している。また、他の地区から小松地区への送水は、関係者の

今井 廣一 議員



(一般質問)

- 1 中学校における運動部活動について

中学校における 運動部活動の存続を！

問

少子化の影響に伴う部員の減少により、団体競技においては大会に参加できず、部の存続自体が危ぶまれている状況が深刻化している。休部や新入部員募集の停

止、大会に参加するための合同チームの編成などを行っているが、現状はどのようになっているのか。また、中学校における部活動は、生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感を育成するとともに、学校生活を豊かにするものであると認識しているが、現状を踏まえ、今後どういった対策を考えているのか。

答

令和元年度は休部が1チーム、合同チームを編成しているのが1チームある。中学生のときにスポーツに親しむことは、たいへん重要であると考え、生徒数は減少傾向にあり、生徒一人一人の希望に応じた部の設置や指導者の配置は難しいのが現状である。生徒がスポーツに親しむ機会を充実させるため、学校以外のクラブチームなどの情報を広く収集し、提供していきたい。



中学校部活動の様子

三好和彦議員



(一般質問)

1 ペットの防災対策について

2 小学校における動物愛護教育について

ペットの同行避難
支援体制の現状は？

問

国は、災害時に飼い主とペットが同行避難することを原則に、ペットの受け入れが可能な避難所の整備を自治体に求めるガイドラインを策定しているが、同行避難に対する理解や備えはじゅうぶんとは言えない。同行避難の認識を広める取組を行っている市もあり、本市においても同行避難に対する情報発信や防災訓練の実施など、早急な対策が必要と考えるが、どのように取り組んでいくのか。

答

本市では、避難所設置運営マニュアルに基づき、市内108か所全ての指定避難所において、避難してきた犬猫などのペットの管理区域を確保し、他の避難者に配慮した上で受け入れることとしている。指定避難所では、動物愛護の観点から医療やペットケア、飼育環境について、獣医師会や各種動物愛護団体からの支援が必要であると考えているが、受け入れに当たっての具体的な検証は行われていない。

今後は、円滑な受け入れに向け、地域住民や獣医師会などによる避難所運営訓練を実施し、同行避難に対する支援体制の整備について検討したい。



ペットも安心して避難できる場所を

西条自民クラブ

高橋 保議員

1 (一般質問)
フレイル予防と介護予防の一体的な取組の実施についてフレイル予防で
健康意識の向上を！

問

近年、人口減少に加え、急速な高齢化が進展している中、元気な状態と介護が必要な状態の間を意味する、フレイルという言葉が注目を集めている。フレイルは体の虚弱・心の虚弱・社会性の低下の三つの要素が重なり合うものであるが、栄養・運動・社会参加の推進により、効果的な予防ができると考えられている。

西東京市では、フレイル予

防事業の講師を、市の職員や各種専門職のかたではなく研修を受けた地域住民が行っており、地域住民が主体となることで、健康意識や、まちづくりへの参加意識の向上などの効果が得られているとの例もあるが、本市におけるフレイル予防についてどう認識しているのか。また、介護予防にどう取り組んでいるのか。

答

本市においては、フレイル予防という用語は用いていないが、健康寿命延伸の観点から、栄養・運動・社会参加の推進に資する四つの介護予防事業に取り組んでいるところである。

一つ目、スマイルサポート教室では、要支援1、2の認定者及び生活機能の低下が見られたかたを対象に、運動や栄養指導を行っている。

二つ目、いきいき百歳体操では、65歳以上の高齢者を対象に、筋力アップや口腔機能の向上、認知症予防の体操を行っている。

三つ目、高齢者カフェでは、65歳以上の高齢者を対象に、



いきいき百歳体操で筋力アップ

体操や手芸、脳トレなどのレクリエーション、生活相談などを行っている。

四つ目、出前講座では、老人クラブなどからの要望に応じて、介護予防体操や介護に関する講義などを行っている。

これらの取組の効果として、6割以上の参加者に筋力、口腔機能の維持・向上が見られたほか、身体的な効果以外にも教室が交流の場になり、閉じこもり予防や生きがいづくりにつながっていると考えている。今後は、現在実施している栄養・運動・社会参加に関する事業の内容について検証を行い、一体的で効果的なものとなるよう取り組んでいきたい。

川 又 由美恵 議員



- (議案質疑)
- 1 楠河分団統合整備事業について
 - 1 女性消防吏員について
 - 2 中学校におけるがん教育について

女性消防吏員の増員と 更なる活躍を！

問 女性消防吏員は、救急業務において、女性傷病者に抵抗感を与えず活動できたり、女性の視点から物事を捉えたりすることができると、住民サービスの向上や消防組織の強化につながるとして、その活躍が期待される。本市では、令和8年度までに女性消防吏員8人の採用を目標としているが、増員に向けてどのように取り組んでいるのか。

答

ハード面では、平成30年度に、消防本部庁舎への女性用更衣室の整備及び西消防署庁舎への女性専用エリアの整備を行った。今後も消防庁舎を更新整備する際には、女性用設備を設け、女性消防吏員の職域や配属先の拡大を図っていきたい。

ソフト面では、県内消防本部合同の就職説明会やPＲイベントなど、女性消防吏員の採用に向けた募集活動を行っているほか、職員研修の一環として、警防業務における従事制限やハラスメント対策に関する研修会を開催するなど、女性消防吏員が働きやすい環境づくりを進めている。

今後も、女性消防吏員の増員のため、効果的な募集活動を実施したい。



訓練に励む女性消防吏員

健康と命の大切さ

中学校がん教育とは？

問

本市の中学校が、愛媛県教育委員会が実施する「がん教育推進事業」のモデル校として選ばれているが、その取組内容はどのようなものか。

また、次期学習指導要領により、中学校では令和3年度から、高等学校では令和4年度から、がん教育を実施する予定である。学校における健康教育は、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく能力を育成することが重要である。子どもたちが、がんについて正しく理解し、健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようになるために、令和2年度以降のがん教育をどのように展開していくのか。

答

今年度、西条北中学校がスポーツ庁の「がん教育総合支援事業」及び愛媛県の「がん教育推進事業」のモデル校に指定されており、講師に専門医やがん患者を招き、生徒対象の講演会を開催

したり、保健体育科の授業を通して、がんに対する正しい理解や命の大切さを学んだりしている。

現在、本市における多くの中学校では、健康教育の一環として保健体育科でがん教育に取り組んでいるが、令和2年度は、がんについての正しい理解を深めるため、西条北中学校の研究発表を基に、各中学校でのがん教育推進に努めたい。

また、令和3年度から全面実施される新学習指導要領にもがん教育が明記されており、各学校で地域の実情に応じた取組が展開されるよう支援していきたい。



西条北中学校でのがん教育の様子

西条市民
クラブ

佐伯利彦 議員



- (議案質疑)
- 1 公共施設等マネジメント推進事業について
 - (一般質問)
 - 1 医療体制について
 - 2 障害者日常生活用具給付事業について

救急医療体制の 現状と対策は？

問

休日夜間急患センターには外科医が常駐していないが、外科医確保の取組はどうなっているのか。また、センター休診日の体制に関する課題をどう分析しているのか。更に、慢性的な医師不足の解消に向けて、今後、どのように取り組んでいるのか。

答

休日夜間急患センターの外科診療体制については、平成24年7月の開設当初は日曜・祝日のみであったが、診療日を増やし、現在は土曜日夜間と、月2回の水曜日夜間にも診療を行い、体制の拡充を図ってきた。センターに従事することのできる市内の外科開業医が年々減少しているものの、西条市医師会の努力により、大学勤務医師の手配を行うことなどで、センターの外科診療体制を維持しているところである。

センター休診日の夜間の一次救急医療体制は、市内開業医及び二次救急医療機関による在宅当番医制により診療を実施しているが、一次医療体制を支える開業医が高齢化などで減少傾向にあること、また、二次救急医療機関も救急医療に従事する医師が不足していることから、診療を行う病院を市内で確保できない事態が発生している。その場合は、同じ二次医療圏である新居浜市の医療機関の協力を得て、救急患者の搬送及び診療を行っている状況であり、本市での医療機関及び医師の確



休日・夜間の一次救急診療の中心を担うセンター

保が緊急の課題となっている。本市では医師不足解消に向け、西条市医師確保奨学金貸付制度を設けており、利用者のうち3人が令和3年4月から指定医療機関で勤務を開始する予定である。また、県が実施する同様の制度利用者の医師配置が地域公立病院を中心に令和2年度から本格的に開始されるため、本市も指定医療機関への配置要望を行っている。医師確保については、本市だけでは解決が難しいため、今後も国や県への働きかけを行っていくとともに、さまざまな施策を利用し、関係機関との連携も図りながら、本市における医師確保の実現に努めたい。

西条みらいクラブ

御 莊 秀 樹 議員



（一般質問）
1 特定健康診査の受診率向上について

地域における健康増進を！

問

受診率向上には地域の健康づくり推進員による受診勧奨が重要と考えるが、どう取り組んでいるのか。

答

健康づくり推進員は、地域の健康づくりの担い手として委嘱しているので活動の中で積極的に受診勧奨するよう働きかけたい。更に、地域の健康づくりについては、現在設立に向けて取り組んでいる地域自治組織も含めて、在り方を検討していきたい。

佐々木

充 議員



（一般質問）
1 キャッシュレス化について
2 起業型地域おこし協力隊について

スマホを活用できないか？

市税の収納

問

市税などを納付しやすいとするためには支払い方法の選択の幅を広げる必要がある。他市においても徐々に普及しているスマホ決済を導入する考えはないか。

答

スマートフォンによる決済はコンビニや金融機関などの窓口に行かなくても納付が可能であり、市民サービスの向上につながることから、現在準備を進めているコンビニ収納と併せ令和2年度から導入する予定である。

真 鍋 頭 伸 議員



（一般質問）
1 公共施設等総合管理計画について

公共建築物を削減して持続可能なまちづくりを！

問

「今後40年間で、公共建築物の延べ床面積20パーセント削減を目指す」との目標を掲げているが、40年後に必要とされる歳出額を、どのように見込んでいるのか。

答

今回掲げた指標は、将来の公共建築物の改修や更新に係る財政負担を、過去10年間の投資的経費と同程度に抑制することを目指しており、将来の歳出額は年平均約35億2千万円と試算している。なお、指標は人口や財政状況など社会情勢の変化に応じて見直す可能性がある。

公明党
西条市議団

越智 絹 恵 議員



(一般質問)

- 1 人権問題について
- 2 ひきこもり支援について

人権文化の花咲くまちに！

問

全ての市民の人権が真に尊重される人権文化の花が咲くまちづくりのため、人権・同和教育にどう取り組んでいるのか。

答

市民大学での人権・同和教育講座をはじめ、各種講座の開催や人権・同和教育研究大会への参加のほか、各公民館を中心に自治会などとの連携の下、地区別に人権教育懇談会を実施している。

城戸 力 議員



(議案質疑)

- 1 私立保育所児童運営事業（ほか7事業）について

(一般質問)

- 1 自立循環型関係人口プラットフォーム構築事業について

移住者を呼び込む施策を！

問

新規就農者が農地を取得する場合、下限面積が40アールと定められているが、これを1アールに引き下げ、就農する移住者の増加につなげてはどうか。

答

本格的に就農する場合に経営が成り立つ条件を考慮すると、現在の40アールの下限面積は必要であると考えていることから、取得要件を緩和する予定はない。

日本共産党
西条市議団

青野 貴 司 議員



(一般質問)

- 1 核兵器廃絶について
ほか3件

署名・批准すべき！

核兵器禁止条約

問

安倍首相は広島市及び長崎市の平和記念（祈念）式典で、世界で唯一の被爆国でありながら核兵器禁止条約への署名と批准について言及しなかった。日本は一日も早く核兵器禁止条約への署名・批准をすべきと思うが、どのように考えているのか。

答

安全保障・外交を司る国において判断されるべきものであると考えている。

山地 美知一 議員



(議案質疑)

- 1 個人番号カードを活用した消費活性化事業について
ほか1件

(一般質問)

- 1 移住施策について
- 2 人口減少社会における財政計画について
- 3 熱中症対策について
- 4 リフォーム助成制度の創設について

生活保護者にエアコンを！

問

生活保護者によるエアコンの設置や更新に対する支援はあるのか。

答

平成30年度に国が要領を改正し、高齢者や子どもなど熱中症予防が必要者がいる世帯に設置費用の支給が認められ、改正以降、本市は3件の支給実績がある。

会派に
属さない議員

高橋 章 哲 議員



(一般質問)

- 1 会計年度任用職員制度の導入について
- 2 廃船となったのり養殖作業船の活用について

嘱託臨時職員の

処遇改善に向けて！

問

会計年度任用職員制度の導入に向けたスケジュールと労使間の協議状況はどのようになっているのか。

答

現在、令和2年4月1日からの制度施行に向け、勤務条件などの協議を行っており、職員組合に対して調整がほしい速やかに説明を行いたい。

総務委員会・分科会での主なQ&A

9/13開催
付託議案2件
請願1件

公共施設等マネジメント 推進事業

Q 市民アンケートの概要は？

A 市内在住者3千人を対象に、公共施設の利用状況や満足度、施設再編に対する考えに加え、自由意見欄を設けて広く意見を伺うこととしている。なお、3千人のうち1千人は高校生を対象とする予定である。

地域・企業等 連携防災力強化事業

Q 防災訓練の内容は？

A 映像や音響設備により作り出した疑似的な非日常空間の中で防災クイズや作業を行い、災害時に落ち着いて行動することや、日頃からの防災知識・技術の習得が大切であることを体験してもらうための体験型アトラクションとして、訓練を行うこととしている。

個人番号カードを活用した 消費活性化事業

Q 発行体制の強化と利用環境整備の取組状況は？

A 交付枚数の増加が見込まれるため、本庁窓口へ臨時職員2人を配置する。また、利用環境整備のため、マイキーID設定支援窓口を本庁と各総合支所に設置し、支援員を各1人配置するほか、利用店舗や市民向けに広報活動を行う予定である。



マイナンバーカードの政府広報

福祉文教委員会・分科会での主なQ&A

9/13開催
付託議案10件

放課後児童健全育成事業

Q 事業の内容は？

A 児童クラブの1日平均の利用人数が、条例の基準を超えている玉津児童クラブについて、これまでは玉津小学校敷地内のプレハブに加え、臨時的に学校の余裕教室を使用して対応していたが、今回、余裕教室に静養スペースを設置するなどして児童クラブ専用に変更し、2クラス制で運用しようとしているものである。

また、同じく利用人数が基準を超えている丹原児童クラブについては、これまで使用していた丹原福祉センターに耐震性がなく老朽化も著しいことから、丹原小学校の通級指導教室に可動式の間仕切りを設けるなどして児童クラブ専用に変更を行い、利用人数が多いときには低学年と高学年の2クラスに分けて実施することなどを検討している。

西条市母子生活支援施設 設置及び管理条例等の 一部を改正する条例

Q 廃止されるくるみ荘入居者の退所予定時期は？

A くるみ荘は、すみれ荘の改修に合わせて廃止することから、入居者については、令和元年11月末から順次、くるみ荘を退去し、すみれ荘に入居していただく予定である。



改修中のすみれ荘



お試し移住用住宅として貸し付け予定の建物

環境消防委員会・分科会での主なQ&A

9/12開催
付託議案6件

移住促進事業

Q お試し移住用住宅の概要とトラブル防止策は？

A 市に寄附された建物に消防法に基づく設備などを設置した上で、簡易宿所として営業許可を取り、貸し付けるものである。今後、貸付規則を作成し、貸付対象者を市外在住者に限定するほか、入居時は事前面談で注意点を説明し、退去時は職員が立ち合い現状回復を確認するなどの対応を検討している。

楠河分団統合整備事業

Q 1分団当たりの車両配備基準と、今後の消防団拠点施設の更新整備計画は？

A 車両配備基準については、平成30年度作成の消防団拠点施設更新整備基本方針において、1分団当たり3台としている。なお、車両が不足する西条地区・小松地区の分団については、今後、車両若しくは小型動力ポンプの配備により対応する。消防団拠点施設の更新計画については、当初、合併特例債の活用を前提とした全体計画を作成していたが、最終的に計画どおりの活用は困難との結論に至り、見直しが必要となった。しかし、拠点施設の統合は早急に進めるべきとの考えの下、今回、楠河分団の統合を進めており、今後の事業計画については、総事業費を再算定し、年内の早い段階で見直すこととしている。

産業建設委員会・分科会での主なQ&A

9/12開催
付託議案2件
請願1件

ひめの凜生産拡大支援事業

Q 事業内容と支援対象は？

A 県が新しく開発育成した米「ひめの凜」の販売を目的とした栽培に対して、令和元年度から3年間、種子代の助成を行い、ブランドの定着を図る事業である。対象者数と作付面積は、JA周桑管内が26人で20ヘクタール、JA西条管内が15人で7・8ヘクタールを見込んでいる。



新しいお米「ひめの凜」ロゴマーク

畜産基盤施設再生支援事業

Q 事業の目的は？

A 畜産農家や県・市などで組織する畜産クラスター協議会により中心経営体と位置付けられた4経営体が、豚舎分婉柵や牛舎屋根の改修などを行った場合に支援をするものである。

ニホンジカ狩猟捕獲 森林保全対策事業

Q 現況と対応状況は？

A 県内のニホンジカの生息数は、平成26年度末時点で約3万5千頭と推定され、高縄山系だけでなく、現在は石鎚山系にも生息するなど増加傾向にある。県が令和3年度までに頭数を半減させる計画を立てていることから、今後は国・県、猟友会とも連携しながら、適正な頭数管理に努めたい。

令和元年度 政策提言会が開催されました

令和元年度 政策提言項目

ラグビー場整備事業について
交通弱者（高齢者）救済対策事業について
新やすらぎ苑（火葬場）新設事業について
東予運動公園プールの整備について
石鎚エリアにおける体験活動の機会創出について
使用料及び手数料の見直しについて
運動公園等の公共施設における一元管理について
防災倉庫と災害備蓄品について
児童の運動能力向上のための地域指導者の活用について（外遊びボランティアの充実）
西条商店街の今後の在り方について
合併浄化槽の設置費用に対する宅内配管工事費用助成補助について
学校給食の無償化について
市内消防団蔵置所へのAED（自動体外式除細動器）配備について

8月20日に令和元年度西条市議会政策提言会を開催し、全13項目の政策を提言しました。

この提言会は、市の課題を把握した上で、その解決に向けた政策などを会派や議員自らが立案し、市長に対し提言を行うもので、平成23年度から継続して開催しています。

このような機会を通じ、市民福祉の向上のための政策を市政に反映していきたいと考えています。



○開催日程

・9月30日（月）
現地調査
・10月1日（火）
書面審査
・10月2日（水）

○選任された委員

委員長	西坂
副委員長	高橋
委員	佐伯
	藤井
	井上
	御地
	山智
	越又
	川坂
	白坂
	由美
	絹恵
	美知
	秀一
	浩樹
	武彦
	利彦
	章哲
	壽

9月定例会初日に、平成30年度各会計歳入歳出決算の審査を行う決算審査特別委員会を設置され、9月30日から10月2日の3日間で現地調査と書面審査を実施しました。

決算審査特別委員会 を設置しました



書面審査の様子



現地調査の様子

議会活性化推進特別委員会

活動報告

議会活性化推進特別委員会

では、議員定数及び議員報酬

について協議・検討を行った

結果、本委員会における現時

点での方向性として、議員定

数28人、議員報酬月額48万

円との考えに至りました。

このことについて、西条市

議会基本条例に基づき、広く

意見を聴取するため、専門的

な知見を有する参考人の招致

と、市民の意見を聞くための

公聴会を開催し、それぞれ意

見聴取を行いました。

○公聴会

開催日 10月7日(月)

公述人 市民延べ6人



○参考人招致

開催日 10月11日(金)

参考人 大学教授2人

・愛媛大学教授

兼 平裕子氏



・松山大学教授
妹尾克敏氏



西条市議会基本条例(抜粋)

第6条第2項 議員定数及び議員報酬の改正に当たっては、行財政改革の視点及び類似団体との比較だけでなく、人口、面積、財政力及び市政の現状と課題、将来の予測と展望を十分に考慮するとともに、議員活動の評価等に関して広く意見を聴取するため、参考人制度及び公聴会制度等を活用するよう努めるものとする。



みずき議員レポート



西条市議会
マスコットキャラクター
みずき議員

西条高等学校生の 課題研究は進む！

前号に引き続き、今回は、西条高等学校の生徒さん達が、西条市議会を訪問してくれたけん、その様子を報告しようわいの～。

1回目は7月26日に、議会訪問で施設見学をして、本会議場の議員席にも座ってみてもろたんよ。2回目の8月22日には、議員との意見交換会を開催したんよ。積極的にようけ質問もろて、みずき、みんなの熱気でクーラー壊れるんじゃないかと内心ハラハラしたわね～。3回目の9月10日は、本会議を傍聴してくれたんよ。

今後は、これまでの研究の成果を発表する中間発表っていうのがあるらしいわね。その後も研究は続くみたいなけん、次の報告を楽しみにしとってんよ～。



7/26
議会訪問



8/22
意見交換会

9月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議案第25号	令和元年度西条市一般会計補正予算(第3回)について	原案可決	議案第41号	西条市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第26号	令和元年度西条市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)について		議案第42号	西条市認定こども園条例の一部を改正する条例について	
議案第27号	令和元年度西条市介護保険特別会計補正予算(第2回)について		議案第43号	西条市印鑑条例の一部を改正する条例について	
議案第28号	令和元年度西条市簡易水道事業特別会計補正予算(第1回)について		議案第44号	西条市西ひうち水道条例及び西条市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	
議案第29号	令和元年度西条市公共下水道事業特別会計補正予算(第2回)について		議案第45号	西条市病院事業の設備等に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第30号	令和元年度西条市本谷温泉事業特別会計補正予算(第1回)について	継続審査	議案第46号	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
議案第31号	平成30年度西条市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について		議案第47号	人権擁護委員候補者の推薦について	
議案第32号	平成30年度西条市水道事業会計決算の認定について		議案第48号	人権擁護委員候補者の推薦について	
議案第33号	平成30年度西条市病院事業会計決算の認定について	原案可決	報告第13号	平成30年度西条市財政健全化判断比率及び公営企業における資金不足比率の報告について	報告聴取
議案第34号	公有水面埋立地の用途の変更について		報告第14号	平成30年度西条市公営企業における資金不足比率の報告について	
議案第35号	西条市職員退職手当条例等の一部を改正する条例について		報告第15号	平成30年度西条市公営企業における資金不足比率の報告について	
議案第36号	西条市手数料条例の一部を改正する条例について	継続審査	報告第16号	消火活動中における物損事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	原案可決
議案第37号	西条市図書館設置及び管理条例の一部を改正する条例について			決算審査特別委員会の設置について	
議案第38号	西条市立西条郷土博物館等設置及び管理条例の一部を改正する条例について		選任第10号	決算審査特別委員会委員の選任について	議長指名
議案第39号	西条市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	請願第7号	主要農作物種子法の復活を求める請願	不採択
議案第40号	西条市母子生活支援施設設置及び管理条例等の一部を改正する条例について		請願第8号	日本政府が、「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書の提出についての請願	継続審査

議員別議案等賛否一覧表

上表は議案などの審議結果ですが、下表には賛否が分かれた議案などの状況を掲載しています。(現議員数29人)

議員名 議案等 (賛成：反対)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	佐々木 充	真鍋 伸	佐伯 彦	城戸 力	高橋 保	藤井 武彦	三好 和彦	今井 廣一	井上 浩二	(欠員)	御庄 秀樹	山地 美知一	岡村 重治	越智 絹恵	川又 由美恵	行元 博	臼坂 均	坪井 剛	西坂 壽	越智 俊幸	高橋 哲	青野 貴司	武田 功	児玉 千春	一色 輝雄	楠 學	伊藤 新平	堀江 幸二	藤田 節雄	伊藤 孝司
議案第25号	25：3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
請願第7号	3：25	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	長	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×

※ ○：議案などに対して賛成 ×：議案などに対して反対
※ 行元 博議員は、議長職のため表決に加わっていません。

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員候補者に、
香川 り子 氏
松田 眞理 氏
戸田 秀夫 氏
を推薦することに異議ないものとなりました。

議会を

傍聴しませんか？

本会議・委員会は、どなたでも傍聴することができます。
(傍聴者が多数の場合など、入場者を制限させていただくことがあります。)

詳しくは、
議会事務局へ
お問い合わせ
いただくか、
ホームページを
ご覧ください。



編集後記

11月、霜月に入り、文字どおり寒さを感じるようになりました。各地の紅葉が見頃を迎えています。皆さんは今年、どこで紅葉を楽しみましたでしょうか。

さて、市議会では、タイムリーな情報を皆さんにお届けできるよう、議会だよりのほかに、本会議のインターネット中継や、市議会ホームページ・フェイスブックでの情報発信などを行っています。ぜひ、『西条市議会』と検索して市議会の情報をご覧になってください。

市議会だより編集委員会

委員長 児玉 千春
副委員長 岡村 重治
委員 高橋 智恵
委員 青野 章
委員 一色 輝
委員 伊藤 新
委員 伊藤 孝司
委員 藤田 節雄

